

令和元年

目黒区教育委員会

第26回定例会会議録

(令和元年7月16日開催)

第26回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和元年7月16日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	尾崎 富雄
	教育委員会教育長職務代行者	後藤 幸子
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	櫻井 道雄
	教育委員会委員	笹尾 敦夫

出席職員	教育次長	秋丸 俊彦
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校ICT課長	今村 茂範
	学校運営課長	濱下 正樹
	学校施設計画課長	鹿戸 健太
	教育指導課長	竹花 仁志
	教育支援課長	酒井 宏
	統括指導主事	寺尾 千英
	統括指導主事	片山 順也
	生涯学習課長	千葉 富美子
	八雲中央図書館長	増田 武

書記		小野塚 幸隆
		森 高 健二郎

(議事日程)

日程第 1	協議事項	令和 2 年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について
日程第 2	議案第 1 5 号	目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について
日程第 3	報告事項	令和元年度目黒区一般会計補正予算 (第 1 号) について
日程第 4	報告事項	令和元年度目黒区学力調査実施結果の概要について
日程第 5	報告事項	学校給食使用前食材及び自然宿泊体験教室給食食材等の放射性物質検査の結果について

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和元年第26回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。
本日の欠席委員、欠席職員はおりません。署名委員は、中山委員
です。
ただいま、傍聴の申請がありましたのでお諮りします。傍聴を
許可したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、傍聴を許可することといたします。
なお、以後の傍聴の申請はその都度許可することとし、委員の
皆さんにはお伝えすることはいたしません。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和2年度使用目黒区立小学校教科用図書の採択について(協
議事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 ただいま事務局より説明がありましたとおり、本日も前回に引
き続き、令和2年度から目黒区立小学校で使用する教科用図書に
ついて、調査研究委員会の報告書、学校調査報告書を参考に、実
際の教科書も見ていただきながら、協議を進めてまいりたいと思
います。
資料1の採択日程のとおり、本日は、社会、地図、算数、道徳
の4種目について協議します。8月20日の協議で、各種目の候
補を1社に絞る予定ですので、発行者数の多い種目については、
一定の絞り込みを行ってまいりたいと思います。
なお、前回同様、協議の際に呼ぶ各教科書の発行者名につつま
しては、お手元の資料2の発行者一覧の表に記載のとおり、協議
用記号で呼びたいと思いますので、よろしく願いいたします。
それでは、早速本日の協議に入ります。まず、社会について協
議をいたします。
- 委員 どの教科書も、その単元につかんでほしい、その時間でつかん
でほしいこと目当てが記されていて、終わりには必ずまとめも
あり、その単元から発展的に学んでほしい資料の提示もなされて

いて、素晴らしい内容だと思いました。

その中でも特にG社の教科書は、問いという投げかけから始まり、問題解決的な学習への導入がされ、最後に、次につなげよう、新たな問いを見出す工夫がなされている点が良いと思いました。また、社会的な見方や考え方が自然に身につくような工夫がなされていて、子どもたちが悩んだときに、こういうふうを考えれば良いということが記されている点が良いと思いました。

H社の教科書も、クエスチョンマークから問いが始まるので、同じような問題解決的な学習ができると思います。また、学習の計画で、調べたいことや調べ方が丁寧に書かれていて、子どもたちの助けになると思います。一方、対話形式で、解説文や子どもたちが考えそうなことが既に書かれているため、子どもたちの主体的に学ぼうとする意欲を引き出すという点でどうなのかとも思いました。

最後にF社の教科書ですが、社会科の教科書は、他の教科書よりも重たいという印象を持っており、区民の方々からは、子ども達がランドセルを背負うに当たって、重たい教科書は避けてほしいという意見があります。その中で、2冊になっている点は、子どもたちの負担が軽減されるので良いと思いますが、総合的に勘案して、私はG社とH社の2社を候補に挙げたいと思います。

○委員

今、委員がおっしゃった内容とほぼ同意見ですが、異なる点について何点か述べさせていただきます。

まず、G社の教科書につきましては、社会的な見方、考え方を子どもたちが学んでいくため、様々な工夫がされていると思います。また、情報量が多く、要点が整理されているという印象を受けました。そういう意味では、子どもたちが問題解決的な学習をしようとするときは、この教科書は適していると思います。また、教室で先生から教わることについても、確認がしやすく、復習もしやすいという印象を受けました。

それから、F社、H社の教科書との違いとしましては、隣国についての記述がどういう形でなされているかというところです。G社のものは、国土のところだけではなく、次の単元である暮らしのところでも見られ、踏み込んだ深い学びができる工夫がされているという印象を受けました。

以上の点から、私は、G社が一番良いと思いました。

F社とH社につきましては、大きな差はないものの、F社が良

いと思いました。

以上から、私はG社とF社に絞り込みました。

○委員

F社につきましては、他の委員が分冊について意見を述べていましたが、分冊は評価が分かれるところだと思います。無くしややすいという意見もある一方、学習分野が分かれているため、使いやすいという意見もあり、私は使いやすいと思いました。

内容については、災害の分野をどのように各社で扱われているのかに注目しました。

F社の教科書には12ページと詳しく記載されていますが、取り上げる場面については、価値観により異なる見解もあるのではないかという印象を受けました。G社の教科書には8ページ記載されていました。コンパクトですが、過不足なく書かれているという印象を受けました。H社の教科書にはG社のものより少なく、6ページ記載されていました。

これらを比べると、G社の教科書の記載が正鵠を得ていると思いました。それから、G社の教科書は見開きをうまく活用するなど、構成が良かったですし、興味深い題材を取り上げている点も良いと思いました。

最後に、憲法がどう扱われているかという点に注目しましたが、これもG社の教科書では詳しく丁寧に解説されているところから、私はG社が良いと思いました。

○委員

私の教科書の選び方の基準は、主体的・対話的で、深い学び、すなわち想像力をどうやって養えるかということ、もう一つは、新しい指導要領になるので、教師力による差が出ないことの2点です。

その基準によると、F社の教科書は色々なところで物事を考えさせることに重点を置いた教科書であると思います。G社の教科書は、学習の進め方が均一で、無理なく学べるという印象を受けました。H社の教科書は、全体的に肯定的な教科書であるという印象を受けました。

それから、他の委員がおっしゃったように、社会の教科は意見が分かれるものです。私は、第二次世界大戦のところを比較しました。

F社のものは、戦争が与える影響や悲惨さについて、物事を考えさせるというところに重点を置いていると思いました。G社のものは、事実経過について感情を入れずに淡々と記載されている

印象を受けました。H社のものは、戦争は駄目だという主張が入っているように感じました。

私は、色々考えさせる点、教師力にあまり影響されずに学習できる点から、F社とG社の2つを選びました。

○教育長

3社とも良くできているというのが私の感想です。私の学校教科用図書の採択の考え方については、これまで申し上げておりませんとおります。

1点目は、新学習指導要領に沿って、子どもたちが主体的に学ぶことができる教科用図書になっているかどうか。それから、子どもたちが対話的に学習を進め、コミュニケーション能力の向上に資するような内容になっているかどうか。また、総合的に見て、深い学びに導いていくことができるかどうかという点です。

2点目は、全体の内容、構成、それから表記及び表現、地域性の4つの観点から見て、私なりに、それぞれ加点方式、減点方式により、プラスとマイナスの部分差し引いて結論を導いています。

3点目は、実際に使う児童にとって、分かりやすいものになっているかどうか、親しみやすいものになっているかどうか。一方、授業を進める教員にとって、使いやすいものかどうか、教えやすいものとなっているかどうかという大きな3つの観点からの総合力として判断をいたしております。

その結果、私もG社ということで、1社に絞り込んでいるところであります。

そうしますと、F社が2名、G社が5名、H社が1名ということでございますので、次回はF社とG社の2社に絞って協議を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長

それでは、8月9日の協議では、F社とG社を採択候補としてその中から絞り込みを行い、8月20日の協議で最終的に1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前9時47分休憩)

(午前9時48分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
次は、地図について協議をいたします。
地図の発行者は2社ですので、本日は絞り込みを行わず、委員の皆様のご意見、ご感想を伺うのみとし、8月20日の協議で1社に絞りたいと思います。
- 委員 見やすさという点で検討したところ、G社の教科書は、方位や地図の記号が大きくてわかりやすかったです。また、日本の統計というところで、G社のものは、帯グラフなどを使って、見やすいよう工夫をされていましたので、私はG社を選びました。
- 委員 私はまだ、どちらが良いという絞り込みをしていないのですが、F社の教科書は、災害のところがよくできていて、見やすいと思いました。それから、目次の字が大きくて見やすく、地図を理解する上の導入部分が工夫されていると感じました。
G社のものは、先ほどの委員がおっしゃったとおり、色や記号が大きく、グラデーションの色のつけ方が良いため、見やすかったです。
それぞれに特徴があって、まだどちらが良いかは決めていません。
- 委員 この2社につきましては、本当に差がないという印象を受けました。ただ、情報量の点でG社のものは、コンパクトにまとめられていて、肝心なことは記載されていますが、見やすさへの配慮がされているという印象をもちました。
それから、現代的な課題が社会の教科で取り上げられていますが、どこの地域のことについて書かれているのかを子どもたちが地図上で勉強しようと思ったときに、該当の場所を見つけやすい工夫が、G社のものではされているという印象を受けました。
以上の点から総合的に見ますと、私はG社を推したいと思いますが、F社も優れていましたので、いずれも良いと思います。
- 委員 どちらも巻頭に見開きで世界地図があり、子どもたちが興味を持ちそうなイラストで問いかけをしているなど、様々な工夫がなされていて、良い地図だと思いました。
F社の教科書は、資料地図や統計のページで写真が多用されていて、良かったと思います。また、先ほど別の委員がおっしゃっ

たとおり、災害については、F社のものが詳しく、わかりやすく丁寧に書かれているという点は良かったと思います。

G社のものは、最初の地図、地図の約束、地図帳の使い方について、関連性を持たせ、分かりやすく書かれている点が、良かったと思います。また、生徒が地図に興味を持つように色々工夫されている点や、色彩も地名がはっきり見えるよう工夫されている点も良いと思いました。

○教育長 私は、社会の教科との関連はどうかということと、中学校地図とどう連携しているのかという点も見ることがあると思いました。特に、地図と社会を併せて勉強する必要があると思ったところです。

それでは、地図につきましては、F社とG社を残し、8月20日に最終的な協議にしたいと思います。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前9時55分休憩)

(午前9時56分再開)

○教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次は、算数について協議をいたします。

○委員 どの教科書にも、単元の終わりには練習問題があり、その学びを広げる資料や発展問題も入っていますし、導入の部分も工夫がなされていました。

その中でもH社の教科書は、算数を学ぶうえで、どのような力をつけてほしいかということがページの最初に書かれていて、分かりやすく良かったです。また、新しい単元に入るときに、イラスト形式で問題発見の場면을提示して、新しい学びに入りやすい工夫がされている点や、思考力、判断力、表現力がバランスよく身につくような工夫がなされている点が良かったと思いました。全ての学年に、プログラミング的思考が育まれるよう、筋道を立てて考えようというコーナーが入っている点も、高く評価しています。

また、興味を引く導入の工夫としては、J社の教科書の準備のページが面白く、子どもたちが次の学びに入りやすいと感じました。基本的には、目当てとまとめの連続で、単調なつくりだと思

いながら見ていたのですが、私は、学びに対しては均一性が大事なことだと思っていますので、単調なつくりも良いと思います。キャラクターの吹き出しで、ヒントや注意点を都度記載している点も、学びの助けにもなるため、良かったです。

最後はF社の教科書です。構成は、他の社と似ていますが、J社のものと同様に、吹き出し等でヒントや疑問点を投げかけ、学びをスムーズに進める工夫をされている点が良かったです。特にF社のものは、単元が終わるごとに振り返りとして、大切な見方・考え方というページがあります。そこに必ず、学習を振り返って話し合ってみようというのがあります。学んだことを言葉にするということは、学習の定着率を高めることにおいて、有効だと言われているので、その点においても、算数ながらも多様な学びが入っていて、評価が高かったです。

以上をもって、私は、H社、J社、F社の3社が良いと思っています。

○委員

6社それぞれ良いところがあり、悪いところは見つからないと思いつつ比較しておりました。

私は、算数など理科系の教科に抵抗感を持っている子どもが多いという印象を以前から持っておりましたので、算数を学ぶことに児童自身が集中できる工夫がされている教科書を選びたいと思っておりました。

主体的な学びをする上でのポイントは、苦手な科目について、教科書に書き込めるスペースが必要だということです。苦手な教科であれば、教科書をめくるだけでは駄目だと思ひまして、書き込むスペースがあれば、メモや印をつけることで、後で自主的に読み返すきっかけとなるので、主体的な学びに結び付くのではないかと考えております。

そういう意味では、H社の教科書が優れていると思ひました。それから、H社の教科書には、苦手意識をできるだけ本人に意識させないための工夫が見られました。

I社のものについてですが、友達のノートを見てみようというところで、友達のノートを見て、自分の印象を記録するという取り組みが、斬新な発想だという印象を受けました。

K社のものについてですが、プログラミングについて、詳細に書かれておりました。アメリカで開発されたスクラッチというプログラミングの言語を紹介しており、深い学びができるようにな

っていました。レベルが高いかなという不安も感じましたが、今の時代のプログラミングの重要性を考慮した結果、このレベルまで記載した教科書も必要であると思いましたので、高く評価しました。

これらの検討の結果、私は、H社、I社、K社、この3社を選びました。

○委員 どの会社もそれぞれ工夫を尽くされていて、良くできているという印象を持ちました。

F社の教科書は、1年生で初めて算数に触れるに際して、馴染めるよう教科書に書き込めるスペースをつくる工夫がされ、難しい單元では、児童がつまずきそうなところを2段階に分け、克服しやすいよう工夫がされていると思いました。マイノートについても、良くできていると思いました。

H社の教科書は、F社のものと同じように、難しい單元を分ける工夫がされているという点、それから、巻末に補充問題があつて、使いやすい点が良かったです。それから、中学校へのかけ橋というものが、工夫されていて、良いと思いました。

最後は、J社の教科書です。見やすいレイアウトがされていることと、単元の始まりと終わりに工夫がされているので、学習を定着させることができ、良くできていると思いました。

ですので、この3社にしました。

○委員 算数という教科は、差がつきやすいものだと思います。この差がつきやすい教科を、どうやって子どもたちに教えていくのが大事だと思います。

そうすると、前学年からの振り返り、それから、個々のテーマでの振り返りがあることが一番大切だと思います。また、さらに先に進む人のために、補充問題がしっかりしていることも大切です。

それから、算数の解き方や、考え方を友達と相談できるような教科書だと良いと思います。また、考え方や解き方は色々あるということが示されている教科書だと良いと思います。

これらの点を基準として選んだときに、私はF社、H社、I社が良いと思いました。

○教育長 私は先ほど申しましたとおり、加点方式と減点方式でやっておりますので、加点方式のところは、各委員の方々が今申し上げたところによります。減点方式については、あえてこの場で言うべ

きことではないと考えております。総合的に考えまして、私は、F社、H社、J社としました。

各教科書とも、よくできていると思いますが、絞り込んでいく必要があります。

皆様のご意見を踏まえますと、F社が4名、H社が5名、I社が2名、J社が3名、K社が1名ということでよろしいでしょうか。

それでは、次回はF社、H社、J社の3社に絞って協議を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

○教育長 それでは、8月9日の協議では、F社、H社、J社を採択候補としてその中から絞り込みを行い、8月20日の協議で最終的に1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。

議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時14分休憩)

(午前10時16分再開)

○教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

次は、道徳について協議をいたします。

○委員 道徳を学ぶ上で何が大事なのか考えた結果、教科書に押しつけ感がないこと、自分で物事を考えること、友達の考えをよく聞くこと、教師によって教え方に差が出ないことが大事だと思いました。

そのため、私はF社、I社、J社が良いと思いましたが、この3社に共通しているのが、学ぶ目標や構成がしっかりしている点です。それから、考えさせることに工夫を凝らしており、またバランスが良いので、私は、F社、I社、J社を選びました。

○委員 私も、今委員がおっしゃったように、押しつけがないということは大事なことだと思います。まだ小学生ですから、誘導しようと思えば、いくらでも誘導できるため、本人が考えられるように、誘導して結論に導かせるような教科書でないものの方が良いと思いま

した。

そのような視点で考えると、まずF社の教科書は、考えようという問いが誘導的でなく、また質問の数も少ないため、自由に考えられ、良いと思いました。いじめについて取り上げているところも、私の中では評価が高かったです。

次にI社の教科書ですが、この教科書は問いも妥当ですし、それから、小学生には難しいかもしれませんが、題材が興味深いものであるため、良かったです。また、いじめについても取り上げている点を評価しました。

最後は、写真やイラストが大きくて見やすい点や、身近な選手などを取り上げて、興味ある題材を使用している点から、L社を選びました。

ということで、F社、I社、L社としました。

○委員

私は、道徳という教科は、難しい題材を取り上げ、その題材に対し子どもたちが自由に考えることができ、その考えを対話で確認するものと思っています。

この教科の選定に当たり、いじめの取り上げ方について比較しました。8社ありますが、比較の結果、3社に絞れるという印象を持ちました。

まずF社の教科書ですが、いじめのない世界へというところで、いじめに対する印象を子どもたちに素直に取り込んでもらうため、導入部分にアンパンマンのイラストを差し込む工夫を見て、好印象を持ちました。

それから、單元ごとに、考えよう1、2という設問を設けるシンプルな構成としているので、子どもたちがそれぞれの単元で何を学習すれば良いか把握できるよう工夫がされていました。考えよう1のところでは、自分の考えをまとめ、学級の人々に話すなどの工夫がされています。一方、考えよう2のところでは、それを踏まえて深く考えられるよう設問が設けられているので、とても良い工夫だと思いました。

それから、いじめにつながる考え方として、ノンステップバスでの出来事が書かれていました。これは、いじめそのものではないのですが、間接的に、そういったものを考える工夫がされており、道徳的価値の理解を深める上で、小学生にとっては良いものだという印象を持ちました。

また、私が特に印象深かったのは、家の人と一緒に考えようと

いうところです。これも、道徳という教科の大きなテーマだと思います。家の人と一緒に考えるということは、とてもハードルが高いことだと思うのですが、それをあえて教科書の中で書いている点を評価しました。

次にI社の教科書ですが、教科書全体を通して良い印象を持ちました。

最後にL社の教科書ですが、いじめをなくすためにというところで、著名人の文章が出ていました。道徳という教科を勉強する上で、とても良い文章であるという印象を持ちました。インターネットの單元では、物語の中でインターネットを考えようという工夫がされていました。理解が難しいものを、あえて物語の中で考えさせる工夫がされているという印象を持ちました。

ということで、私はF社、I社、L社、この3社を選びました。

○委員

各委員がおっしゃっていたように、道徳は正解や解答を求めるものではなく、自分の考えを見詰め直して、友達などの意見を聞いて、物事を多面的に捉えて、それを今後、自分の生活に生かしていくものです。ですので、観念的に理解させるものや、特定の道徳的価値へ誘導するようなものでなく、ある程度自由度があるものが良いと思いながら、各教科書を拝見しました。

結論から申しますと、私は、F社、I社、L社、K社の4つが良いと思いました。

道徳は教科ですから、学んでほしいポイントを押さえながら、読み、発言することが重要で、F社の教科書はそれが分かりやすく書かれていると思いました。

○教育長

私は、先ほどの基本的な考え方とともに、道徳が教科となるに至った背景を踏まえて、選定しております。また、小学校1年生から6年生までの6年間で、子どもたちの深層心理にどのような影響を与えるのかという観点から選定しております。

その結果、F社、I社、L社といたしました。

結果としまして、F社が5名、I社が5名、J社が1名、K社が1名、L社が4名ということでございますので、次回は、F社とI社とL社の3社に絞って協議を進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員同意)

- 教育長 それでは、8月9日の協議では、F社、I社、L社を採択候補としてその中から絞り込みを行い、8月20日の協議で最終的に1社に絞り、その上で8月27日の教育委員会で議決を行いたいと考えております。
- 議事の都合により暫時休憩とします。

(午前10時31分休憩)

(午前10時32分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き、会議を開きます。
- 次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 議案第15号 目黒区教育委員会いじめ問題対策委員会委員の委嘱について)

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はありませんか。
- 特にないようですので採決を行います。
- 本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第15号は原案どおり可決します。
- 次に日程第3を議題とします。

(日程第3 令和元年度目黒区一般会計補正予算(第1号)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はありませんか。
- 特にないようですのでこの報告を受けました。
- 次に日程第4を議題とします。

(日程第4 令和元年度目黒区学力調査実施結果の概要について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
- 委員 こちらの学力調査は、目黒区独自のものと理解しているのですが、この問題の作成は、どなたがされているのでしょうか。
- 説明員 問題の作成は、業者に委託をしております。
- 委員 7ページの4番の「問題が解けたとき、別の解き方も考えていますか」の調査結果で、全国平均を上回っているのは良いのですが、特に中学生の場合、「考えようとしている」、「どちらかといえば考えようとしている」の割合が、学年が上がるごとに低くなっているのは、どのような点に原因があるか、あるいは、どうすればこの数字を改善していけるか、お考えをお聞かせいただければと思います。
- 説明員 ご指摘のとおり、学年が上がるにつれて、肯定的な割合が低くなるという傾向がございます。
- 問題が解けたときに、別の解き方も考える人数の割合が少なくなっていくことにつきましては、だんだん問題が難しくなるにつれ、効率的な解き方を生徒側が追及した結果であり、そういう意味では自然なことだと考えております。
- ただ、対話的で深い学びを重要視している状況もございますので、自分で考えるほかに、友達の考えを聞く機会を設け、様々な考え方があるということ、子どもたちに伝える必要があると感じております。
- 委員 8ページの中学校の数学の問題番号12で、無解答が52.7%となっていますが、なぜこれほど高いのでしょうか。半分以上が解答しないというのは、問題の妥当性がどうなのかと思ひまして、その点について、業者の方と話し合いをしたり、先生方が意見が述べるといふことはあるのでしょうか。
- 説明員 数学の問題番号12ですが、標準的な時間をかけて学んだ場合に期待できる正答者の割合を示す目標値も25%となっていますので、業者としても、難しい問題を設定していると考えられます。
- 具体的な問題ですが、XYの座標軸の中で三角形の面積を二等分する直線の式を求めるものでございまして、52.7%の無解答の生徒たちは、その式を思いつかずには書けなかったと考えます。
- また、業者に委託している関係上、問題の内容について、変更してもらうことは難しいのですが、無解答の多い問題があること

については、業者にも伝え、何か改善策があるか聞いてみたいと思います。

○委員　　これが活用問題であれば分かりますが、基礎問題は既に学習した範囲から出題されるものなので、その範囲を超えるものを出題することには疑問があります。今後検討材料にさせていただければと思います。

○委員　　私は、目標値より低い生徒の数が数学、理科で目立つことが気になります。

別紙2の「あなたの結果」で、できた、できないだけの評価ではなく、どこまで頑張ったか、どの点を頑張れば、よりできるようになるというアドバイスが欲しいと思いました。そういう苦手意識を払拭するような方向に導いていただくコメントを結果につけ加えることはできないでしょうか。

○説明員　　別紙2は、児童・生徒に結果を示すものですが、問題と一緒に配布はしておりません。これは、問題を非公表としているためですが、授業改善の分析に使うように学校には問題を残していますので、各学校では問題が分かる状況になってございます。

学校では、この別紙2を返すだけではなく、児童・生徒と保護者と教員で、学力調査の結果を見ながら、これからの学習のアドバイスをすることを毎年行っています。その中で、児童・生徒に課題を克服するためのアドバイスを教員から伝えています。

なお、教員の授業改善につきましては、学校によって、子どもが苦手とするものが同じというわけではありません。ですので、学校ごとに課題となる問題を分析して、どのような授業改善が必要かということについて、研究を進める必要があります。授業改善プランの作成とあわせて、各学校で分析・工夫して、授業改善につなげていただきたいと思います。

○委員　　当然のことながら、授業改善には教科書も大きく関係すると思いますので、併せて教科書の使い方等についても触れていただきたいと思います。これは要望です。

○教育長　　この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
次に日程第5を議題とします。

(日程第5　　学校給食使用前食材及び自然宿泊体験教室給食食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
- 教育長 この件についてご質問等はございませんか。
特にないようですのでこの報告を受けました。
議事の都合により暫時休憩とします。

(午前11時09分休憩)

(午前11時10分再開)

- 教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。
7月23日の教育委員会定例会は休会とし、次回、第27回教育委員会定例会は7月30日に開催します。
以上で本日の定例会を閉会します。

(午前11時11分閉会)